クローズアップ ⑩

木の持つ温かさを伝える木工職人

佐々木　清隆（きよたか）さん（62歳）
津山町・本町１丁目

「おもちゃなどを作っているときは、子どもたちの喜ぶ顔を想像しながら作っています」と語る佐々木さん。現在、自宅近くの工房で木工芸品を製作する職人で、3年前からは津山木工芸品事業協同組合の理事長もしています。

小さいころからものづくりに興味がありましたが、木工職人を目指したのは、昭和54年に町の木工加工技術研修への参加がきっかけでした。

研修で木工加工の世界に魅了された佐々木さんは、この世界への挑戦を決意。昭和55年（当時37歳）にそれまで勤務していた会社を退職し、木工職人へと転職しました。

昭和57年には、クラフトショップもくもくハウスが開店し、津山木工芸品事業協同組合が会員12人で発足（現在は19人）。津山町と東北工業大学が共同で開発した「矢羽（やばね）模様の集成材」により「もくもくブランドの木工芸品」が誕生し、もくもくハウスで販売されるようになりました。

現在まで食器や家具、おもちゃ、文具など約二千種類の製品が各会員の工房で開発され、毎年製作している「えと」をモチーフにした木工芸品は大変人気があります。

「今後も常に新しい発想でものづくりを続けて、子どもたちに夢や木の持つ温かさ、やさしさなどが伝えられるおもちゃを作っていきたい」と抱負を話しました。

今年のえとの犬をモチーフにした木工芸品

文芸コーナー

短歌

雪かぶり枝しだれたる木の下に
　みどりの著我はすっくと立ちおり
初礼出玉雪肩に降りかかり
　幸多かれと祈る新妻
道遠くたどり着きたる県境
　ななかまどの赤午後の陽にもゆ
天命のままに生きつつ九十三才
　吾に新らしき春まためぐる
短日を日向の縁に座し居れば
　去りし日残る日思いは巡る
あら玉の筆の始めは李鼎和を
　ひとへ購い齢かさねり
師走きて障子やぶりて腹かかえ
　笑う子泣く子孫四人いて
一斉に沼より飛び立つ雁の群れ
　陽の出近づく空の朝焼け
我が庭の池のひ鯉を見つけたか
　青さぎ一羽はもん残して
歌友賜びしにぎりこけしをわが夫
　ひたすら握り木目光りぬ

鈴木ミサ子（迫）
亀卦川洋子（東和）
工藤ちよみ（米山）
千葉みゆき（米山）
山野　鳩子（迫）
山形昭一郎（津山）
佐藤よしの（石越）
佐々木せい子（迫）
阿部ふみ子（米山）
千葉たかよ（米山）

俳句

筆先に魂込める吉書かな
ソリ滑り孫と戯る鳴子山

佐々木振作（南方）
遊佐　弘子（迫）

サークル紹介 ⑩

病院ボランティア

佐沼病院で活動をする「病院ボランティア」の皆さん

「患者さんから笑顔でありがとうと言われることが活動の源。逆にこちらが元気をもらうことが多いですね」と話す渡邉さん。平成15年に公立佐沼総合病院（当時）からの募集で始まった「病院ボランティア」は、診察に来る患者さんへのサポート活動をするサークルです。

会員は市内の56歳から63歳までの8人。会員のほとんどが仕事のかたわら休日を利用してサークルに参加しています。

活動は月曜日から金曜日の、午前8時30分から正午までで、受付時間に合わせて佐沼病院1階のロビーで行われています。曜日ごとに担当を決め、1人当たり週に1回の活動をしています。

また、毎月1回、定例会を開催し、病院職員との情報交換や活動報告を通して、より良い活動になるよう努力しています。

現在の活動内容は、初診・再診患者への受付案内、診察室・検査室・病室などへの案内、病院玄関での送迎補助、各病棟の図書整理などです。

「今の人数では1日1人の活動となっていますが、会員が増えれば、さらに内容の濃い活動ができると思います。ボランティア活動に意欲のある人、ふれあいを通して元気になりたい人を募集しています」と渡邉さんは話します。

サークルに参加したい人は、渡邉さんまでご連絡ください。

代表　渡邉　信夫（のぶお）さん
迫町・駒木
連絡先　0220（22）3022

川柳

紅梅や女らしさを失なわず　コマクサ（迫）
風花や孫の産声乗せて来し　小野寺智子（迫）
鎖樋伝ふ雫に初日射す　大泉けい子（中田）
箱根路に揺れる襷や初の春　小野寺郁夫（中田）
同級会酒ほんのりと初日かな　千葉　三学（中田）
くぐり戸や茶席賑はふ福寿草　山内　成子（中田）
冬ざれや野辺に放置の草ロール　佐々木武子（中田）
ずっしりと重き町史に菊かほる　鈴木とき子（中田）
から松の黒部の里の水恋し　畠山　保治（東和）
初日受け膳に揃ひし膝小僧　千葉ともゑ（中田）
晩学の良き友集ふ初句会　近藤　譲行（中田）
日脚伸ぶ訪ねて見たき人ありぬ　今野きよし（迫）

新世代おせち料理もコンビニで　青木　五郎（迫）
恐ろしいクラゲにも似たビルさわぎ　吉田まさよ（迫）
合併し行政よどむ沼の水　佐藤美穂子（石越）
栄養士脱げば厨の味となり　武内　弘也（中田）

※応募者多数のため抽選で掲載しました。ご了承ください。

●●文芸作品募集●●

俳句、短歌、川柳いずれか１カ月１作品。締め切りは毎月10日。住所、氏名、電話番号を記入してご応募ください（作品には必ず読みがなを付けてください）。応募者多数の場合は抽選で掲載しますのでご了承ください。

【あて先】〒987－0511
登米市迫町佐沼字中江二丁目６番地１
登米市総務部総務課広報係
☎0220（22）2090
FAX0220（22）9164
E-mail:koho@city.tome.miyagi.jp